

# NY マーケットレポート (2018年6月26日)

## 2018年6月26日(火)

アジア主要株価	終値	前日比	年初来%	外国為替	終値	高値	安値
日経平均	22342.00	+3.85	-1.86%	USD/JPY	110.06	110.21	109.37
ハンセン指数	28881.40	-79.99	-3.47%	EUR/JPY	128.22	128.50	127.80
上海総合	2844.51	-14.83	-13.99%	GBP/JPY	145.58	145.81	144.98
韓国総合	2350.92	-6.96	-4.72%	AUD/JPY	81.37	81.46	80.98
豪ASX200	6197.61	-12.80	2.18%	NZD/JPY	75.46	75.78	75.19
インドSENSEX	35490.04	+19.69	4.21%	EUR/USD	1.1650	1.1720	1.1635

\*アジア〜ニューヨーク

欧州主要株価	終値	前日比	年初来%	コモディティ	終値	前日比	年初来%
英FT100	7537.92	+28.08	-1.95%	NY GOLD	1259.90	-9.00	-3.4%
仏CAC40	5281.29	-2.57	-0.59%	NY 原油	70.53	+2.45	17.1%
独DAX	12234.34	-35.99	-5.29%	COBTコーン	373.25	+1.75	0.5%
スペインIBX35	9637.40	+19.50	-4.05%	CRB指数	197.24	+1.899	1.7%
イタリアFTSE MIB	21419.27	+64.08	-1.99%	ドル指数先物	94.676	+0.387	2.8%
南ア全株指数	55254.67	-634.59	-7.14%	VIX指数	15.92	-1.41	41.3%

米国主要株価	終値	前日比	年初来%	Crypto Currency	本日	前日
米ダウ平均	24283.11	+30.31	-1.76%	CBOE Bitcoin(先物・期近)	6175	6265
S&P500	2723.06	+5.99	10.85%	CME Bitcoin(先物・期近)	6160	6250
NASDAQ	7561.63	+29.62	9.53%	Ripple (BSTP)	0.469	0.478
南北米主要株価	終値	前日比	年初来%	Ethereum (BSTP)	441.14	458.68
トロント総合	16280.09	+96.13	0.44%	Bitcoin Cash	718.80	755.80
ボルサ指数	46908.94	+161.09	-4.95%			
ボベスパ指数	71404.59	+451.63	-6.54%			

\*USD 6:00時点

x一部暫定値

### 6/27 経済指標スケジュール

10:00	【ニュージーランド】6月ANZ企業景況感
10:00	【ニュージーランド】6月ANZ企業活動見通し
10:30	【中国】5月工業利益
15:00	【英国】6月住宅価格指数
15:00	【ノルウェー】4月失業率
15:45	【フランス】6月消費者信頼感指数
17:00	【スイス】6月クレディスイス景気期待指数
17:00	【欧州】5月マネーサプライM3
20:00	【米国】MBA住宅ローン申請指数
21:30	【米国】5月製造業受注
21:30	【米国】5月耐久財受注
21:30	【米国】5月卸売在庫
22:00	【メキシコ】5月貿易収支
23:00	【米国】5月中古住宅販売仮契約
23:30	【米国】EIA原油在庫
06:00	【ニュージーランド】政策金利発表

日本国債利回り	本日	前日
2年債	-0.129%	-0.131%
5年債	-0.110%	-0.113%
10年債	0.038%	0.035%
30年債	0.717%	0.714%
欧州国債利回り		
ドイツ10年債	0.340%	0.327%
英国10年債	1.303%	1.294%
フランス10年債	0.740%	0.720%
米国債利回り		
2年債	2.534%	2.533%
3年債	2.622%	2.628%
5年債	2.746%	2.751%
7年債	2.835%	2.840%
10年債	2.877%	2.880%
30年債	3.025%	3.024%

### 6/27 主要会議・講演・その他予定

- ・ボストン連銀総裁 講演
- ・米5年債入札

## NY 市場レポート

### ◀ NY 市場概況 ▶

NY 市場では、複数の米当局者の発言を受けて、米中貿易戦争が差し迫っているとの懸念が和らいだことからドルは大半の主要通貨に対して上昇した。また、米主要株価が堅調な動きとなったことや、米長期金利が上昇したこともあり、クロス円も堅調な動きとなった。その後は、複数の米地区連銀総裁の発言を受けて、株価が上げ幅を縮小したこともあり、ドル円クロス円は引けにかけて上値の重い動きとなった。

### 主要な米経済指標結果

6 月消費者信頼感指数 126.4 (予想 128.0・前回 128.0⇒128.8)

6 月の米消費者信頼感指数は、市場予想を下回り、前月改定値から 2.4 ポイント低下した。景気の現状に対する信頼感指数は 161.1 (前月 161.2)、向こう半年の期待指数は 103.2 (107.2) といずれも前月から下落した。雇用関連では、現状は「職が豊富」との回答は 40.0% (前月 42.1%)、「就職が困難」との回答は 14.9% (前月 15.6%)。向こう半年では「求職が増える」との回答は 20.0% (前月 19.7%)、「求職が減る」は 12.6% (前月 13.1%)。向こう 1 年間のインフレ見通しは 4.9% (前月 4.9%)。



出所：Bloomberg

6月リッチモンド連銀製造業指数 20 (予想 15・前回 16)



出所：Bloomberg

## 要人発言

### ハセット米 CEA (大統領経済諮問委員会) 委員長

- ・米国が中国と EU の関税引き下げを勝ち取るために自らのレバレッジを活用する可能性は高い
- ・EU が自動車関税をゼロにするための提案を示すという報道は経済チームが期待しているような進展だ

### ライアン米下院議長

- ・関税引き上げよりも良い手段がある

### カプラン・ダラス連銀総裁

- ・短期債は Fed の行動を反映しているが、中長期債は米国資産の需要や米景気の先行き不透明感などを含む要因に反応している
- ・米国の将来の成長への期待は芳しくない
- ・利回り曲線が景気後退のシグナルとされるが、今回は違うと言うのは気が進まない
- ・利回り曲線のフラット化は、米国の経済成長が短期的には強く、中長期的には緩慢というシナリオに沿うものだ
- ・とても大きな脅威と考えられるものと闘おう、それは中国との関係だ
- ・われわれが友人たちとの間で他に 5 つの闘いを展開していなければ、中国との闘いでより力を発揮できるだろう
- ・今年の米 GDP 成長率は非常に良い数字となるだろうが、来年からは財政刺激策の効果が若干弱まるだろう
- ・減税と支出拡大を受けた米政府の債務水準上昇は成長に逆風となる可能性

### パーキン・リッチモンド連銀総裁

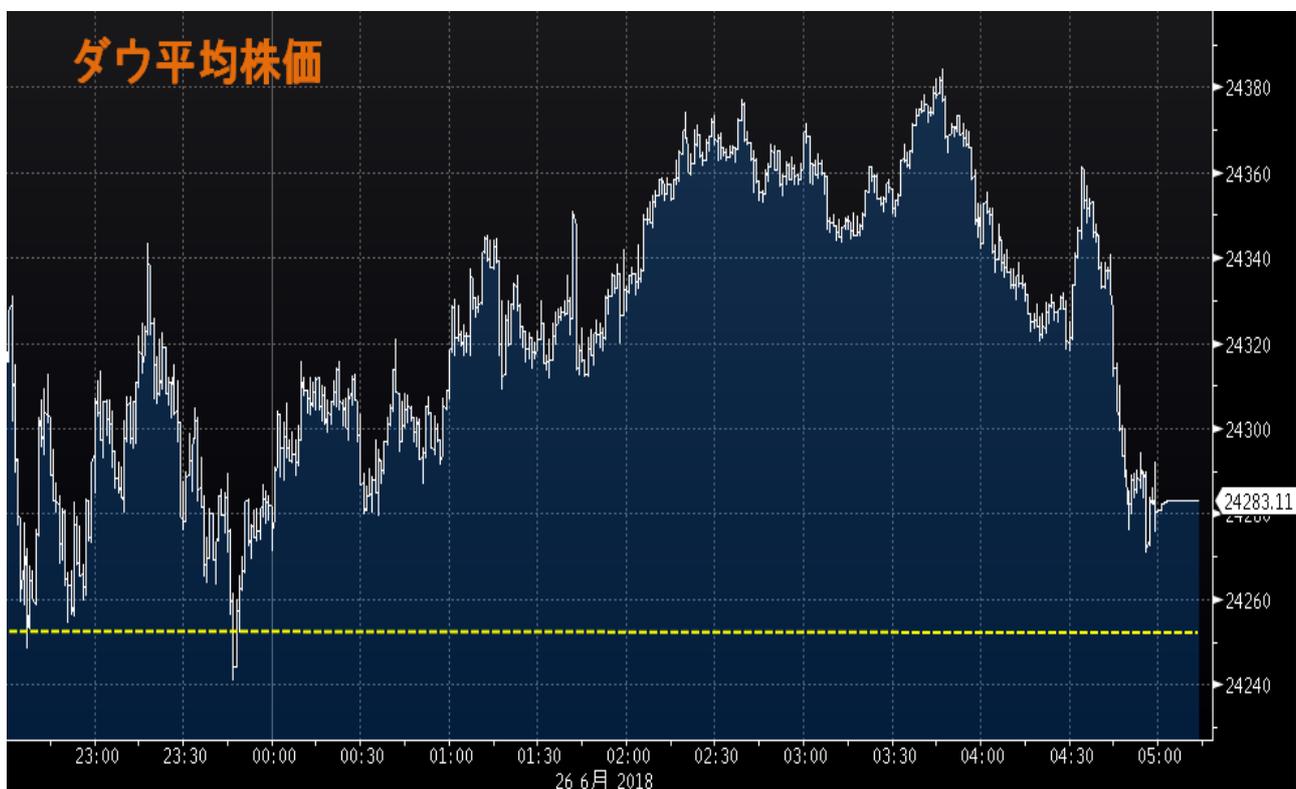
- ・最近の減税が経済を少なくとも適度に押し上げると期待するのは合理的
- ・複数の要因で家計や企業の反応を極めて予測しにくい状況にある
- ・企業構造によって対応は異なるため、法人減税の全体的な影響を予測するのは特に難しい
- ・多くの不確実性を考慮し、FOMC は最近の税法による将来的な影響を慎重に評価している

### ボスティック・アトランタ連銀総裁

- ・中央銀行が過去 10 年間に見られた行き過ぎを回避しようとしている
- ・米国の通商政策には多くの不確実性があり、誰が勝者になるのか判断が難しいと指摘
- ・鉄鋼関税は比較的小さな部分に影響し、自動車関税はより大きな影響を与え、混乱は痛みを伴う

### 米主要株価は終盤に上げ幅を縮小

米株式市場は、前日に大幅下落したことで、値頃感の出た銘柄を買い戻しも見られ、主要株価は序盤から堅調な動きとなった。また、原油価格の急伸を受けて石油関連株の上昇も影響した。ただ、貿易摩擦激化への警戒感も根強く、やや上値は限定的だった。ダウ平均株価は、序盤から堅調な動きとなり、一時 131 ドル高まで上昇したものの、終盤には上げ幅を縮小し、30 ドル高で終了した。



出所：Bloomberg

セクター別変動率(ダウ平均)			個別の変動率(ダウ平均銘柄)		
	セクター	変動率		銘柄	変動率
1	石油・ガス	1.21%	1	シェブロン	1.26%
2	素材	0.50%	2	アップル	1.24%
3	テクノロジー	0.48%	3	ピザ	1.24%
4	資本財	0.11%	4	エクソン	1.13%
	通信サービス	-0.60%		インテル	-2.05%

出所：データを基に SBILM が作成

## 米当局者の発言がマーケットに影響

NY市場では、ハセット米CEA（大統領経済諮問委員会）委員長が、「米国が中国とEUから関税引き下げを勝ち取る可能性は高い」と述べたことや、ライアン米下院議長は不公正な貿易慣行に対抗する上で、「関税引き上げよりも良い手段がある」と発言したことを受けて、米中貿易戦争が差し迫っているとの懸念が和らいだとの見方が広がり、ドルは大半の主要通貨に対して上昇した。また、米主要株価が堅調な動きとなったことや、米長期金利が上昇したことから、クロス円も堅調な動きとなった。その後は、複数の米地区連銀総裁の発言を受けて、株価が上げ幅を縮小したこともあり、ドル円・クロス円は引けにかけて上値の重い動きとなった。また、米国の通商政策が欧州企業の収益を圧迫するとの警戒感を背景に、ユーロは対ドルで軟調な動きとなったことから、対円でも上値の重い動きとなった。



出所：総合分析チャート

提供：SBI リクイディティ・マーケット株式会社

お客様は、本レポートに表示されている情報をお客様自身のためにのみご利用するものとし、第三者への提供、再配信を行うこと、独自に加工すること、複製もしくは加工したものを第三者に譲渡または使用させることは出来ません。情報の内容については万全を期しておりますが、その内容を保証するものではありません。また、これらの情報によって生じたいかなる損害についても、当社および本情報提供者は一切の責任を負いません。

本レポートに表示されている事項は、投資一般に関する情報の提供を目的としたものであり、勧誘を目的としたものではありません。投資にあたっての最終判断はお客様ご自身でお願いします。